

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている		○			事業部としての理念は元より事 業所としての理念もあることを 認識してほしい	すべてできているとされてなく ともまだまだ頑張れる余地があ ると捉えることもできる。「理念 の明確化」は職員全員が事業 所の理念を理解していることが 望ましいです
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している		○			理念は細かいところまでの理 解が不十分であり、不足してい ると思う情報は職員自ら収集す る努力や習慣が必要である	新規相談等で管理者、看護師 の他に職員も同席させ職場研 修になるよう推進すると良いと 思います
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している		○			外部研修内容のマンネリ化が あり受講希望が少ない。内部 研修に於いては動画研修を導 入しながら進めている	スキルアップの為にも限られた 時間の中で積極的に研修参加 して欲しいです

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			特定行為等は認定を受けた者のみが実施することになっている。また年齢、経験等を考慮し生活援助中心に援助を行うよう配置している場合もある	新任者と、長年勤務者との専門的スキルは大きな格差があり、管理者と新任者、熟年職員との個別研修で修正していけば良いのではないだろうか
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			朝、夕の申し送り時他緊急案件の場合はその都度情報を共有している	
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			人員に不足が生じている状態であるが勤務開始時間を変更したり、利用者特性に応じたサービス提供ができるよう努力している	利用者の状況を速やかに判断しすぐに実施すれば時間ロスが少なく人員不足も少し解消できるかと思いました
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			年2回の開催を実施している。会議内で得られる近隣情報等からすぐにサービス提供に反映できているかと言うと難しい。近隣への周知活動に努力の必要あり	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			昨年は『できている』と言う評価であったが今年度は『ほぼできている』が多かった。新人職員が増えたわけではないが一年間を過ごす中で工夫されていないと感じる部分があったと理解している	専門的スキルを定期的に継続実施することが重要です
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			年間二回の交通安全講習会を実施。災害時の対応、夜間帯の防犯対策は不安を感じる職員もいる	火災以外の緊急時に対する訓練、地域住民参加の訓練を行っている所もあり参考にして欲しい。地域の方への車椅子使用法の指導等いかに地域の方々と連携できるかを考えることも必要と思います
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			内部研修等において個人情報の取り扱い、プライバシー保護について学んでいるが、管理法としては不十分と言える。鍵付きの保管場所を確保したい	利用者のプライバシーは最も重要なので全職員に徹底して欲しいです

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			個人により、ディサービス利用、外出予定があり、その予定に合わせた提案をしている	
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			利用開始時に、看護師によるアセスメントから実際の訪問計画に繋げている。双方からの突合せは少し不足している部分がある。	
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			利用開始時から変化が無いか等を定期訪問時等に観察し変化があれば内部での検討やケアマネへ状況報告し維持回復できるように努めている	未来志向型の計画書作成はサービス内容と計画書内容が大きく書け離れてはいけない為難しいところがあります。一日複数回の訪問を行いADL維持が出来ることにより未来志向型計画へ繋がると思っています

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			介護員の接し方、丁寧な介護で心身の状態安定を図ることができると考えるが、何より現在の状況として、一日の訪問回数の実施はリスク管理の一環である事は間違いない	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			体調変化や、自己都合等により予定が変更される場合有。その時は柔軟な提供に努めている	定期訪問時だけでなく、適宜利用者の変化を感じ取って対応することが大事です
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				毎月定期的にモニタリングを実施し、計画へ反映できるようにしている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			連携型として、常に情報共有を図っているが、時に報告が遅れることで指導されることもある。医療的な部分及び介護員への指導等は看護職が担い、身体介護、生活援助に関して介護員が担っている。	看護職、介護職と情報共有はすごく大切であり時に意見の違いはあると思うが、互いに聞く耳を持つことが大切ではないだろうか
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			特定行為等の指導はもちろんの事、日々の状態観察から予測されることへの助言、指導を受けている。	
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			管理者及び、計画作成責任者から契約締結時に、重要事項説明書等において、本人または御家族に対して説明している	利用者や家族の考え要望を含め計画作成し意向の変化、計画の説明をわかりやすいように専門用語を使用しないことが望ましいです

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			目標に関しては本人または御家族に説明を行っているが、計画書への同意を経る時が殆どで、日常的な共通認識となっていないことも有る	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				変化が生じた場合は御家族への連絡や相談を行っている。同時にケアマネへの情報提供も必ず行っている	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			心身機能変化、周辺環境変化等については適宜ケアマネへ情報を提供している	利用者の有する能力を活かして心身機能の維持回復を重視してサービス提供をして欲しいです
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			法人内居宅介護支援事業所に限らず、他の居宅介護支援事業所にケアマネに対しても、有料ホームと連携を図りながら提案をしている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者会議への出席により多職種への情報提供を行っている	御家族からの要望をよく聞くことが大切だと思います
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)						
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)						介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討することが大切で毎日打ち合わせを実施する事が重要であると考えます
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				現在のところ年1回のみホームページへ情報発信しているが、次年度は会議ごとに発信していきたいと考える	在宅者への情報発信がまだ弱いようです。施設たより等の発行を行ってはいかががでしょうか
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○		1	ホームページ等での周知活動も行っているがまだまだ不足している。地域活動にも出席して広報を行っている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		昨年度の評価より後退している。毎年学習会等を通じて学んでいるつもりだが、身に付いていない結果かと思う。難しく捉えず自分達が日々行っていることこそ方針に沿っていることを理解する必要がある	地域包括システム構築に係る方針や計画の理解に関してできる所は協力していきたいと考えています 何度も研修を重ねて欲しいです
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている			○		常に地域へ展開していく事を考えているが、実績は少なく、次年度への大きな課題として、具体策を講じている	町内会の回覧システムを利用し地域の方々へ発信してはどうでしょうか
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>						町づくりに向けた問題提起、改善策の提案等ありますが、未記入が多く、なかなか理解できない状況にあるようです

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			目標達成は少なく現在の状態維持のほうが多い。病院を退院してすぐにサービス提供を開始し、その後更新時の介護度が軽減していることも有り、目標達成出来るように努力している	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			少数ではあるが、在宅者へのサービス提供を実施した。残念ながら継続に至らず途中で入院しサービス提供を中止した。定期訪問実施時は御家様、御本人から安心感があったと話を頂いた。一人でも多くの方に安心して生活してもらいたいと強く感じている	評価開始から回を重ねて、サービス内容の自己評価はととも良くなっていると感じます。地域の方が積極的に関わって下さっているように見えます。是非地域へ広く展開していけるよう期待しています